

3. 救急医療相談状況

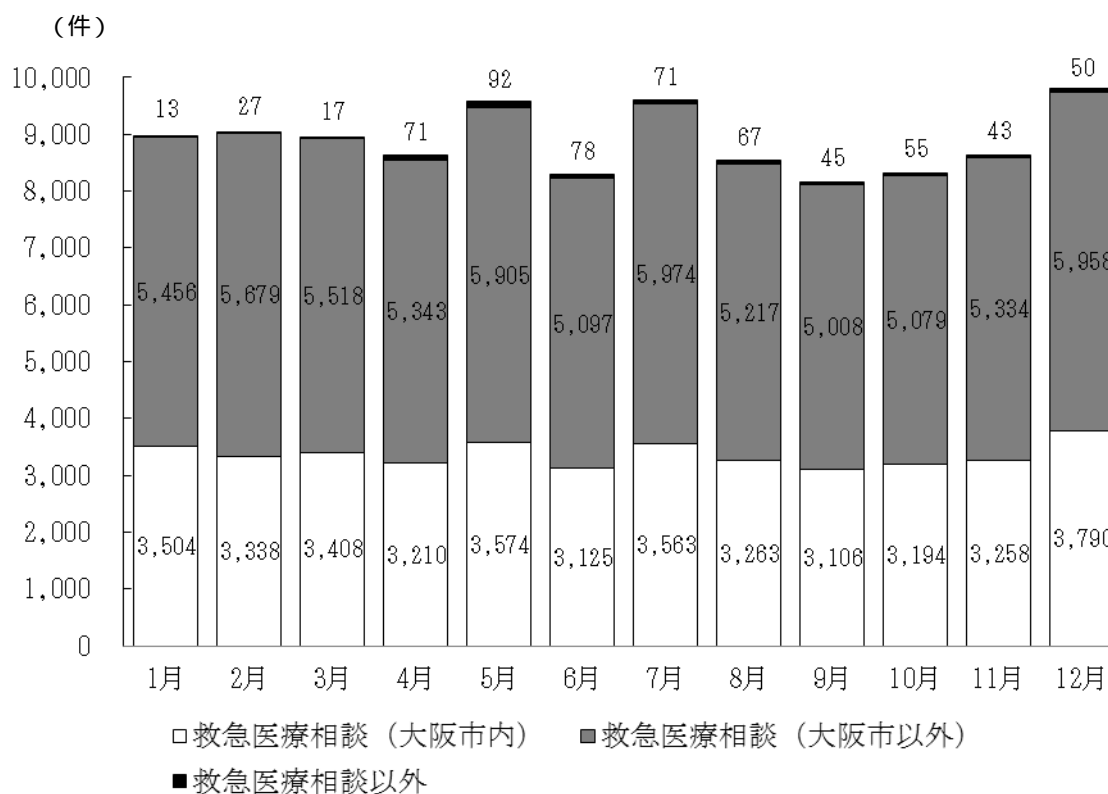
(1) 救急医療相談の月別、区域別利用状況

救急医療相談件数は12月が最も多く、続いて5月、7月の順に多くなっている。

(単位：件)

	大阪市内	大阪市以外	救急医療相談以外 (セカンドオピニオン等)	計
計	40,333	65,568	629	106,530
1月	3,504	5,456	13	8,973
2月	3,338	5,679	27	9,044
3月	3,408	5,518	17	8,943
4月	3,210	5,343	71	8,624
5月	3,574	5,905	92	9,571
6月	3,125	5,097	78	8,300
7月	3,563	5,974	71	9,608
8月	3,263	5,217	67	8,547
9月	3,106	5,008	45	8,159
10月	3,194	5,079	55	8,328
11月	3,258	5,334	43	8,635
12月	3,790	5,958	50	9,798

合計数には、看護師による救急医療相談の結果、救急車の必要ありと判断したものの5,016件(大阪市内2,065件、大阪市以外2,951件、他府県0件)を含む。



(2) 救急医療相談の年齢別利用状況

小児(15歳未満)の相談が54,606人(51.6%)、高齢者(65歳以上)が15,781人(14.9%)となった。

年齢	件数	年齢	件数	年齢	件数
計	105,901				
0歳	12,715	20～24歳	3,458	65～69歳	3,492
1歳	11,915	25～29歳	4,054	70～74歳	3,288
2歳	6,647	30～34歳	4,609	75～79歳	3,304
3歳	5,368	35～39歳	4,488	80～84歳	2,996
4歳	4,344	40～44歳	4,457	85～89歳	1,682
5～9歳	9,961	45～49歳	3,965	90～94歳	806
10～14歳	3,656	50～54歳	2,994	95～99歳	191
15～19歳	2,620	55～59歳	2,157	100歳以上	22
		60～64歳	2,322	不明	390

(3) 救急出場した傷病者の月別傷病程度(大阪市)

救急車の必要があると判断し、救急車を出場させた人数は2,031人(大阪市内)で、そのうち緊急入院した傷病者は509人(中等症以上)であった。また、軽症者の中には脳梗塞や心筋梗塞などでみられる症状をとらえて迅速な受診につなげ、通院加療にとどまったケースもあった。

	軽症	中等症	重症以上	不搬送	計(人)
計	1,383	505	4	139	2,031
1月	107	40	0	13	160
2月	110	39	0	10	159
3月	92	55	1	11	159
4月	93	27	0	9	129
5月	102	29	0	10	141
6月	109	40	0	14	163
7月	149	49	0	14	212
8月	151	45	1	12	209
9月	126	49	1	14	190
10月	123	51	0	11	185
11月	102	40	0	8	150
12月	119	41	1	13	174

3人同時搬送事案1件

